

母校は平成26年 創立100周年を迎えます

稲高

同窓会報

発行所 地11番 加世町野平市
稲高高等学校 立寄市
稲高事務局 愛知同窓会
TEL (0587) 32-3168
FAX (0587) 24-1997

創立百周年を成功させよう

同窓会会長 後藤 芳徳



晩秋の候、同窓会員の皆様にはご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。平素は、同窓会や母校のために格別のご支援ご協力を賜りありがとうございます。

私は、引き続き同窓会長を務めさせていただきこととなり、また百周年行事の実行委員長を仰せつかり、身の引き締まる思いを致しております。誠に恐縮に存じますが今まで以上のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。役員の皆様方の献身的、積極的なご尽力により着々と準備が進められており大変嬉しく存じております。平成二十六年十月三十日には、稲沢高校の歴史にとつて重大な記念すべき日を迎えます。大正三年の創立以来約一万七千名の卒業生を輩出した尾張地区にある公立高校三十三校の中で、百周年を迎えるのは、稲沢高校は三番目であり、稲沢高校が如何に伝統のある高校であるのか誇りに思います。創立当時は農業に関する学科のみでありましたが、戦後、現代社会の要請により普通科も設立され、現在は園芸科、農業土木科、環境デザイン科、生活科学科の四科で後輩たちは学習しております。制服も男女とも百周年を迎えるのにふさわしいものになりました。各科ともそれぞれの研究実績を積み、県の大会や全国大会で表彰さ

平成二十六年を迎える創立百周年を機に、同窓生の皆様の現状をお知らせいただきたいと思い、「住所変更届」を同封いたしました。ご転居された方及びご転居された方をご存知の方は、同窓会事務局までご連絡ください。皆様のご協

同窓生の皆様へのお願い

力をお願いいたします。
(なお、個人情報取り扱いには、細心の注意を払って行います。また、同窓会報等の発送、同窓会名簿等の作成以外には使用いたしません。)

れており、愛知の稲沢高校ここにありと全国で名を挙げております。このような表彰も先生方の方ならぬ勤務時間を超越した師弟同行の精神を発揮してのご尽力の賜であり感謝の到りであります。百周年の式典には、甲子園の野球大会の時と同様に在校生の生徒代表が司会を務めます。この百周年記念式典・行事が同窓会OBのためのみでなく、在校生約六百名の後輩たちにも、また今後母校へ入学する後輩たちにも感動と感銘を与える百周年記念行事にしたいと念願しております。そのため北側校舎と運動場南側に「平成二十六年度創立百周年 後世に引き継ぎ稲高百年の叡智」の横断幕を掲げました。現在、創立百周年記念事業の実行委員会には、記念式典・記念行事部、記念誌部、特別事業部、募金部の四部の専門委員会、同窓会副会長がそれぞれ部の委員長となり、準備を着実に積極的に推進しております。創立百周年記念事業を成功させるためには各部の努力が必要であります。特に募金部の双肩にかかっているといつても過言ではないと思えます。募金部の活動には、各支部の積極的な活動が重要であります。そのため支部組織のない支部へ塚本忠男名誉実行委員長と共に訪問し、組織を作ったいただきました。しかし、まだ支部組織のない支部もありますので是非作っていただくようお願い申し上げます。来年の二十五年から募金活動をお願いしますが、同窓生の皆様には百周年の重みを十分ご認識とご理解を賜り、過去百周年記念事業の時以上に物心両面のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に同窓生皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

校章の変遷



愛知県稲沢農学校
(戦時中の校章、昭和十九年)



稲沢農学校
稲沢農学校と改称される際、稲穂と農業(Agriculture)のAと、学校(School)のSを組み合わせた校章



稲沢町立園芸学校
稲沢町の「稲」、農業の「稲」を周辺にあしらった。その中心には園芸学校の「園」の文字を配した校章



愛知県立
稲沢高等学校
普通科・家庭科・農業科課程で成り立つ総合制高校を、三枚の菊の葉で表徴する校章(現在)



愛知県立稲沢
農業高等学校
農業科のAに、園芸科のHが併置された校章(昭和二十三年)

創立百周年を機にさらなる発展を目指して

校長 林 広志



同窓生の皆様方には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃から本校の教育活動に格別なご理解とご支援を賜り、学校を表して厚くお礼申し上げます。

さて、本校は再来年の平成二十六年に創立百周年という記念すべき年を迎えます。現在、後藤芳徳同窓会長を委員長とする創立百周年記念事業実行委員会が組織され、着実に準備が進められています。学校としましては、創立以来脈々と受け継がれている輝かしい歴史と伝統を継承し、さらなる充実発展を図るべく、鋭意努力しているところです。

関連する学校の動きをいくつかご紹介いたします。第一は制服の改定です。男子は詰め襟学生服から新時代にマッチしたスーツへ、女子は本校の由緒ある装いに新たなデザインを加味した制服へと、平成二十三年度入学生から変更しました。第二は海外修学旅行の実施です。視野を広め、グローバル社会で活躍できる資質と気概を培うことを目指して、平成二十四年度入学生から旅行先を台湾に変更します。

第三は基礎学力の養成です。厳しさを増す就職戦線を克服するとともに自ら学ぶ姿勢を身に付けて卒業後さらに活躍できるように、今年度から週当たりの授業時間を二時間増やし、毎日の朝学習(十分×五日で一単位相当)と週一日の七時間授業を

行っています。

一方、生徒は多方面でよく頑張っています。まず、農業クラブの活躍です。近年の成果には目覚ましいものがあり、昨年度は県連の最優秀を六つ獲得、今年度は県内最多となる十六名が十月に長野県で開催される全国大会に出場しました。また、進路面では、今春の卒業生は厳しい状況が続く中で学校斡旋による就職は男女ともに100%内定、進学希望者は全員が希望どおり合格しています。部活動は地道に活動していますし、資格取得にも熱心に取り組んで難関資格も合格しています。

本校は農業教育をとおして真の人づくりを進める学校として、また農業の基礎基本を身に付ける専門高校として、さらには地域社会の発展に貢献する人材を育てる学校として、さらに飛躍を目指します。諸先輩の築かれた優れた実績を受け継ぎ、誇り高き伝統を発展させ、各方面から本校に寄せられる大きな期待に応えられるよう、創立百周年を機に志を新たにしています。

同窓生の皆様方には、引き続き絶大なご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



創立百周年に向けた取組について

教頭 宇佐美 望

本校は、平成二十六年に創立百周年を迎えます。この記念すべき年を迎えるにあたり、生徒、職員一同、この歴史ある稲高高校に籍を置くことに変感謝しております。本校ではこの創立百周年を契機として、様々な面で飛躍をしていきたいと考えています。

学校では、創立百周年の校内委員会を設置しました。各部の組織には、主任・副主任担当者、校内協力者といった職員を配置し、同窓会の各実行委員会とともに活動していける体制を整え、連携を図っていくように思っています。現在、第三回目の校内委員会を実施し、平成二十六年に向け少しずつ準備を進めています。

まず最初に、本館北側の壁面とグラウンドの南側フェンスには、「平成二十六年度創立百周年 後世に引き継ぎ稲高百年の叡智」との横断幕を掲げました。在校生には、これを励みに意識の高揚を図り、様々なところで活躍してくれることを期待しています。また、卒業生や近隣住民の皆さんには、本校の創立百周年をお知らせし、歴史と伝統を誇る学校であることをアピールしていきたいと考えています。

二つ目には、生徒会・農業クラブ等を中心とし、百周年に向けたスローガンやマスコットキャラクター、ロゴマークなどを生徒から募集しています。現在、続々と応募が届いています。どんな作品が選ばれるのか、とても楽しみです。

三つ目には、特別事業として、生徒全員の手で行った創立九十周年記念事業の「サザンカ生け垣作り」のような全校生徒が百周年を実感でき、また一生の記念になるような企画を考えているところです。

創立百周年をきっかけとした様々な取組が生徒たちの成長につながっていくよう、職員一同力を合わせて進めていく所存であります。

今後とも同窓会の皆様方には、学校を応援していただきご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成22年度入学生までの制服



平成23年度入学生からの制服

創立100周年記念事業実行委員会

企画委員会

実行委員長	後藤 芳徳	(同窓会会長)
実行副委員長	伊藤 紀	(同窓会副会長)
実行副委員長	家田 鐵彦	(同窓会副会長)
実行副委員長	湯浅 勇夫	(同窓会副会長)
実行副委員長	吉川 靖雄	(同窓会副会長)
実行副委員長	牛田 幸夫	(同窓会副会長)
実行副委員長	河邊 直喜	(PTA会長)
実行副委員長	林 広志	(校長)

名誉実行委員長	塚本 忠男
顧問	問 加藤 睦郎
顧問	問 横井 幸春
顧問	問 大野 紀明
顧問	問 長瀬 保
顧問	問 鈴木 幸育
顧問	問 久野 時男
顧問	問 石黒 靖明
顧問	問 丹羽 俊春

同窓会書記	井上 廣堂
同窓会会計	佐藤 裕計
会計監査	杉本 信夫
会計監査	渡辺 菱
PTA副会長	水谷多加志
PTA副会長	服部 勝之
教 頭	宇佐美 望
事務長	立井 浩
同窓会事務局	山田 一夫
同窓会事務局	石川 潤次

専門委員会

*記念式典・記念行事

委員長	家田 鐵彦
副委員長	佐藤 裕計
専門委員	飯田 辰男
専門委員	服部 和美
専門委員	水谷 治夫
専門委員	片岡 勇
専門委員	桜井 紀彦
専門委員	土屋 香苗
専門委員	小林 一一
専門委員	水野 晋(職員)
専門委員	水野 賢孝(職員)

*記念誌

委員長	湯浅 勇夫
副委員長	井上 廣堂
専門委員	宇佐美忠孝
専門委員	水谷 秀和
専門委員	山田 真
専門委員	田島 正敏
専門委員	戸田 成一
専門委員	伊藤 義文
専門委員	安藤 巖
専門委員	加藤鉄一郎(職員)
専門委員	橋本 鉄之(職員)

*特別事業

委員長	吉川 靖雄
副委員長	杉本 信夫
専門委員	渡辺 菱
専門委員	石黒 正味
専門委員	鵜野 春義
専門委員	大宮 守茂
専門委員	吉田 惟俊
専門委員	塚本 周作(職員)
専門委員	村瀬 克典(職員)
専門委員	石川 潤次(職員)

*募金

委員長	伊藤 紀
副委員長	牛田 幸夫
専門委員	蜂須賀崇晃
専門委員	塚本 一利
専門委員	内藤 守
専門委員	竹村 武
専門委員	牛田 勇
専門委員	横田 和明
専門委員	花井 鈺治
専門委員	石田 富一
専門委員	三井 久夫
専門委員	片岡 博文
専門委員	寺澤 勉
専門委員	小川 正幸
専門委員	鈴木 克明
専門委員	石黒 靖啓
専門委員	杉野 恵
専門委員	鈴木 清彦
専門委員	光田 進
専門委員	松浦 茂昌
専門委員	鬼頭 勝治
専門委員	佐藤 光男
専門委員	水谷 輝雄
専門委員	大寫 治雅
専門委員	三輪 明広

専門委員	石川 昇
専門委員	濟田 実
専門委員	丹羽 康文
専門委員	佐藤 峰生
専門委員	加藤 広行
専門委員	日永 貴章
専門委員	佐藤 正
専門委員	黒田 則良
専門委員	平野 紀一
専門委員	横江 秀和
専門委員	伊藤 定廣
専門委員	大島 功
専門委員	加藤 和之
専門委員	今枝 告
専門委員	穂積 啓允
専門委員	竹内 豊
専門委員	山本 重雄
専門委員	加藤 一男
専門委員	西尾 利春
専門委員	犬飼 元造
専門委員	山田 清二
専門委員	山田 廣正
専門委員	山田 晴雄
専門委員	鈴木 義輝
専門委員	三輪 隆則

専門委員	青山 隆美
専門委員	馬場 慎一
専門委員	湯浅 勇夫
専門委員	鵜飼やよい
専門委員	井浪 靖久
専門委員	成瀬 恒雄
専門委員	駒田 宏孝
専門委員	後藤 芳徳
専門委員	杉本 耕基
専門委員	佐々 丈夫
専門委員	寺澤 正美
専門委員	家田 鐵彦
専門委員	武市 重信
専門委員	蜂須賀 毅
専門委員	吉川 靖雄
専門委員	加藤 頌茲
専門委員	牛田 雅邦
専門委員	柴田 清勝
専門委員	服部 敏晴
専門委員	福地 弘明(職員)
専門委員	伊藤 正則(職員)
専門委員	織田 明輝(職員)
専門委員	立井 浩(職員)

平成24年度～平成26年度 同窓会役員名簿

役職	氏名	支部名	卒科回
名誉会長	塚本 忠男	稲沢支部	農甲3
顧問	加藤 睦郎	稲沢支部	普通2
顧問	横井 幸春	稲沢支部	農甲5
顧問	大野 紀明	稲沢支部	普通15
顧問	長瀬 保	師勝支部	定農9
顧問	鈴木 幸育	豊山支部	園芸11
顧問	久野 時男	飛島支部	農土10
顧問	石黒 靖明	岩倉支部	園芸9
顧問	丹羽 俊春	祖父江支部	園芸7
顧問	林 広志	校長	
会長	○後藤 芳徳	佐織支部	農高1
副会長	○伊藤 紀	祖父江支部	農甲6
副会長	○家田 鐵彦	千代田支部	園芸9
副会長	○湯浅 勇夫	稲沢支部	普通14
副会長	○吉川 靖雄	八開支部	定農13
副会長	牛田 幸夫	一宮丹陽支部	園芸16
理事書記	井上 廣堂	西枇杷島支部	普通3
理事会計	佐藤 裕計	祖父江支部	園芸4
監事	杉本 信夫	千代田支部	農業7
監事	渡辺 菱	祖父江支部	定農12
理事	鶴野 春義	稲沢支部	農甲5
理事	石黒 正味	稲沢支部	農業4
理事	蜂須賀崇晃	稲沢支部	農業6
理事	飯田 辰男	稲沢支部	普通10
理事	内藤 守	稲沢支部	定農10
理事	宇佐美忠孝	稲沢支部	農土7
理事	塚本 一利	稲沢支部	農業14
理事	山田 真	明治支部	園芸5
理事	○竹村 武	明治支部	園芸8
理事	水谷 秀和	明治支部	定農12
理事	大宮 守茂	千代田支部	園芸7
理事	横田 和明	千代田支部	園芸9
理事	田島 正敏	千代田支部	農業10
理事	牛田 勇	千代田支部	園芸11
理事	服部 和美	千代田支部	園芸16
理事	○花井 鈺治	大里支部	農高1
理事	片岡 博文	一宮大和支部	定農8
理事	吉田 惟俊	一宮丹陽支部	園芸12
理事	寺澤 勉	一宮千秋支部	農経9
理事	○小川 正幸	尾西支部	定農5
理事	鈴木 克明	尾西支部	園芸11
理事	○石黒 靖啓	岩倉支部	園芸9
理事	三井 久夫	平和支部	農甲5
理事	石田 富一	平和支部	園芸9
理事	水谷 治夫	祖父江支部	定農5
理事	戸田 成一	祖父江支部	定農10

役職	氏名	支部名	卒科回
理事	光田 進	佐織支部	定農11
理事	伊藤 義文	佐織支部	農業14
理事	鈴木 清彦	佐織支部	園芸15
理事	杉野 恵	佐織支部	園芸18
理事	片岡 勇	美和支部	農業1
理事	松浦 茂昌	甚目寺支部	定農12
理事	水谷 輝雄	八開支部	定農13
理事	佐藤 光男	八開支部	園芸16
理事	鬼頭 勝治	八開支部	農経6
理事	丹羽 康文	大治支部	造土1
理事	石川 昇	大治支部	造土2
理事	濟田 実	大治支部	緑園2
理事	○三輪 明広	大治支部	園芸35
理事	大島 治雅	西春支部	造土1
理事	桜井 紀彦	春日支部	園芸9
理事	青山 隆美	師勝支部	農業6
理事	○鈴木 義輝	師勝支部	定農15
理事	三輪 隆則	師勝支部	造土1
理事	○加藤 和之	佐屋支部	農業12
理事	伊藤 定廣	佐屋支部	農土10
理事	大島 功	佐屋支部	農経3
理事	横江 秀和	津島支部	定農7
理事	○平野 紀一	津島支部	農業11
理事	黒田 則良	津島支部	園芸19
理事	○山田 晴雄	蟹江支部	造土1
理事	犬飼 元造	七宝支部	園芸7
理事	○山田 廣正	七宝支部	農業8
理事	山田 清二	七宝支部	農業9
理事	○佐藤 正	立田支部	園芸19
理事	日永 貴章	立田支部	農土36
理事	加藤 一男	飛島支部	農経3
理事	○西尾 利春	飛島支部	園芸19
理事	竹内 豊	十四山支部	園芸8
理事	○山本 重雄	十四山支部	農業9
理事	佐藤 峰生	弥富支部	園芸10
理事	安藤 巖	大口支部	農業13
理事	小林 一一	一宮市	園芸12
理事	土屋 香苗	一宮市萩原町	農業2
理事	加藤 広行	一宮市萩原町	園芸23
理事	今枝 告	小牧市	農22修
理事	穂積 啓允	小牧市	農業12
参与	宇佐美 望	教頭	
参与	立井 浩	事務長	
学校理事	山田 一夫	事務局長	
学校理事	石川 潤次	事務局次長	

※○印は支部長兼任

支部長名簿 (上記役員との兼任者は除く)

支部	氏名	卒科回	支部	氏名	卒科回	支部	氏名	卒科回
一宮大和支部	柴田 清勝	農業5	美和支部	牛田 雅邦	園芸3	春日支部	加藤 頌茲	定農5
一宮丹陽支部	佐々 丈夫	農土4	甚目寺支部	杉本 耕基	造土2	木曾川支部	井浪 靖久	農業12
一宮千秋支部	寺澤 正美	農業16	清洲支部	成瀬 恒雄	定農13	弥富支部	服部 敏晴	農経5
一宮北方支部	馬場 慎一	農土10	西枇杷島支部	蜂須賀 毅	農土5	家庭科支部	鶴飼 やよい	定家1
江南支部	駒田 宏孝	園芸7	西春支部	武市 重信	定農12			



支部だより

稲沢支部

ふれあい交流の集い

支部長 湯浅 勇夫



稲沢支部総会は、支部会員の要請もあり六月三十日に「稲沢市民会館」において後藤会長、林校長、石川先生をお招

きし、多数の会員にご出席を頂き、何十年ぶりに開催することができました。

準備に当たっては、地区委員の高齢化が進み、中には体調が優れない方も見えになるため、新地区委員をお願いしました。

総会では、事業・会計事項の他支部会則や役員選出も協議されました。その後、塚本名誉会長より「樹と共に生きる人生―生涯現役―」と題して講話が行われました。そして、食事後出席者お一人一人が想い出話と共に自己紹介され、和やかなうちに終了し、家路に着かれました。



稲高そだちの方々と一緒に

新支部紹介

七宝支部

七宝支部設立状況について



支部長 山田 廣正

現在七宝支部設立について準備を行っています。平成二十四年六月十六日同窓会理事会に役員として三名出席しました。各支部から多数の理事が出席され稲沢高等学校同窓会が充実していることを確認しました。

支部設立が遅くなりましたが、今後各地区役員をお願いして役員会を実施してから七宝支部設立総会を行い、正式に発足します。

稲沢高等学校創立百周年記念事業を盛大に挙行される計画であります。当地区として支部設立と同時に記念事業に多くの皆様に賛同をしていただくことをお願いしご協力いたします。

飛鳥支部

飛鳥支部の設立



支部長 西尾 利春

稲高創立百周年に向けて、十四年三月に後藤同窓会長に出席をいただき飛鳥支部が設立されました。

飛鳥村には五十八名の同窓生がおり、農業はもちろん地域や職場のリーダーとして活躍されています。支部の活動としては年代を越えて意見交換を行い、親睦を深めていきたいと思っております。

百周年記念事業の大成功と母校の発展を願うとともに、稲高生の「夢」と「元氣」を西尾張の南端から応援しています。



各支部の活動報告を支部だよりとして掲載いたします。支部・クラス会等を開催された折には、原稿用紙に日時、会場、参加人数等を記入の上、写真を添えて事務局までお送りください。

スクールライフ



稲高祭 (11月)



修学旅行 (2月)



入会式 (3月)



卒業式 (3月)



入学式 (4月)



ふれあい農園 (4月)



いきいきマーケット (5月)



体育祭 (6月)

新・転任者

教職員異動

【教諭】

鈴木 崇弘 (国語) (県立足助高等学校)

杉浦 綾香 (英語) (県立津島高等学校)

原 誠 (保体) (県立名南工業高等学校)

村上 繁樹 (農業) (県立猿投農林高等学校)

安藤 学 (農業) (総合教育センター 農業教育共同実習所)

【養護教諭】

安藤万治子 (県立新川高等学校)

【再任用教諭】

加賀 正憲 (英語) (県立津島高等学校)

岩田 久永 (英語) (県立起工業高等学校)

【臨時任用講師】

武田 尚子 (農業) (県立津島高等学校)

【再任用実習教員】

赤木 輝敬 (農業) (県立津島東高等学校)

【事務長】

立井 浩 (県立尾西高等学校)

【主任(事務)】

野田のり子 (県立起工業高等学校)

中川 紀子 (県立稲沢東高等学校)

転・退出者

【教諭】

廣山 幸造 (国語) (県立起工業高等学校)

荒木 義哉 (農業) (県立猿投農林高等学校)

福岡 夏子 (英語) (退職)

【養護教諭】

志治久美子 (県立津島東高等学校)

【兼・所長】

鈴木 尚 (農業) (豊橋市立豊橋高等学校)

【期限付任用講師】

山川 守 (保体) (県立佐織養護学校臨時任用講師)

西島 治美 (農業) (県立安城農林高等学校)

【臨時任用講師】

川村佐知子 (農業) (宮城県小牛田農林高等学校)

【事務長】

加藤 公洋 (退職)

【主任(事務)】

本多 千香 (尾張建設事務所)

【再任用主事(事務)】

小中明比古 (県立尾北高等学校)

平成23年度一般会計収支決算書

収入額 909,143円
 支出額 546,256円
 差引額 362,887円 (平成24年3月31日 現在)

収入の部

単位 円

項目	予算額	収入額	差引額	摘要
第1項 入会金	435,000	435,000	0	平成22年度卒業生 145名
1目 普通会員入会金	435,000	435,000	0	
第2項 繰越金	406,105	406,105	0	
1目 前年度繰越金	406,105	406,105	0	
第3項 雑収入	91,000	68,038	△22,962	利子
1目 総会参加費	80,000	68,000	△12,000	
2目 預金利子	1,000	38	△962	
3目 雑収入	10,000	0	△10,000	
第4項 繰入金	1	0	△1	
1目 繰入金	1	0	△1	
収入合計	932,106	909,143	△22,963	

支出の部

単位 円

項目	予算額	支出額	差引額	摘要
第1項 事務費	30,000	7,681	22,319	切手・ハガキ
1目 事務費	30,000	7,681	22,319	
第2項 事業費	860,001	538,575	321,426	総会費用 会場費他 会報2,000部 証書入(平成23年度 卒業生135名)
1目 総会費	300,000	223,220	76,780	
2目 役員会費	100,000	41,950	58,050	
3目 支部長会費	80,000	18,770	61,230	
4目 会報発行費	220,000	214,620	5,380	
5目 運営調査費	1	0	1	
6目 名簿編集費	10,000	0	10,000	
7目 慶弔費	100,000	25,515	74,485	
8目 旅費	50,000	14,500	35,500	
第3項 予備費	42,105	0	42,105	
1目 予備費	42,105	0	42,105	
支出合計	932,106	546,256	385,850	

平成23年度蓄積基金会計収支決算書

蓄積基金 5,100,552円 (平成24年3月31日 現在)

単位 円

収入		支出	
1 前年度繰越金	4,953,642	1 繰出金	0
2 入会金	145,000		
3 預金利子	1,910		
4 雑収入	0		
収入合計	5,100,552	支出合計	0

【内訳】	収入合計	5,100,552円	三菱東京UFJ銀行 普通預金	1,513,970円
	支出合計	0円	愛知西農業協同組合 普通貯金	86,582円
	差引額	5,100,552円	愛知西農業協同組合 定期	1,500,000円
			愛知西農業協同組合 定期	2,000,000円
			合計	5,100,552円

＊評議員会のご案内＊

評議員とは、毎年同窓会に入会
 する際に選出される学級のもと
 役です。その評議員である皆様
 方に、平成二十六年に行われる
 稲沢高等学校創立百周年記念
 事業について、ご支援とご協
 力をいただきたく左記の日程
 で評議員会を開催したいと思
 います。
 ご多用中誠に恐縮ではありま
 す。多くの評議員の皆様のご
 理解をいただき、ご出席いた
 だけますようお願い申し上げます。

一日時 記

平成24年12月1日(土)

午後1時半～受付

午後2時～評議員会

二 場所

愛知県立稲沢高等学校

評議員の皆様には出欠確認のた
 め専用の用紙が同封してありま
 す。恐れ入りますが資料準備のた
 め十一月二十二日(木)までに
 稲沢高等学校までFAXにてご
 連絡をいただけますようお願い
 申し上げます。

愛知県立稲沢高等学校

同窓会会長 後藤 芳徳